



データ / 音声 / 映像アプリケーション対応 VPN で低コスト、高性能、ユーザの高い満足度を達成

ランテ

ランテ（Lante）社は、シスコのデータ / 音声 / 映像アプリケーションに対応した IPsec VPN（V³PN）ソリューションを導入することで、低コスト、高性能、ユーザの高い満足度を達成しました。

- 60% 以上帯域幅支出を削減
- 既存のシスコ製デバイスを継続して使用
- リモート サイトでの帯域を増加させながら、リンク コストを削減
- 音声品質に敏感なユーザも満足

背景

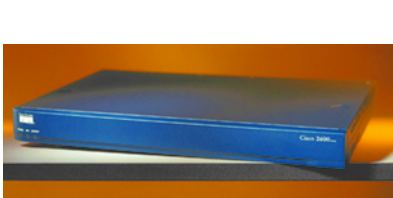
ランテ社は、有力な IT コンサルタント会社であり、主に大手企業がビジネス パートナーと電子的に接続およびコラボレートする際のコンサルティングをしています。ランテ社は、パートナー統合を可能にする Web ベースのビジネス ソリューションと企業テクノロジー プラットフォームを立案して開発しています。これらのソリューションは、顧客サービス、注文管理と処理、調達、コンテンツ管理、物流、立案と予測などの業務効率およびプロセスを改善するよう設計されており、企業がコストを削減し、収益を増やし、より強くより収益性の高いビジネス関係を構築するのに役立ちます。

2002 年当初、ランテ社は、シカゴの本社と国内の 4 つのブランチ オフィスの合計 5 つのオフィスで約 380 人の従業員を雇用していました。当時のランテ社では、5 つのオフィスからの音声通信にフレーム リレー インフラストラクチャを使用しており、通信費用は 1 カ月あたり 34,000 ドルを超えていました。これには、すべてのオフィスのインターネット トラフィックをサポートするためのシカゴ本社の DS3 のインターネット アクセス コストが含まれています。ランテ社の情報システム管理者は、シスコのデータ / 音声 / 映像アプリケーション対応 VPN（V³PN）ソリューションを使用した Voice over VPN に変更することにより、月々の通話料を大幅に削減できることに気付きました。これを担当したのは、情報システムのインフラストラクチャマ

ネージャである Tom Marcello 氏です。Marcello 氏は次のように語ります。「(Voice over VPN によるコスト節約の可能性を上司たちに提示したところ) 上司たちは大変興味を示しました。これを実施したあと、音声トラフィックが改善され、運用費が削減されたことを知り、彼らは大変喜びました。」

ランテ社はシスコのルータを Voice over Frame Relay アプリケーション用に設置していたため、Voice over VPN の実装にこのルータを利用することにしました。ランテ社の情報システム管理者は、シスコの装置とサポートに非常に満足しました。必要なことは、既存の Cisco 2600 および 3600 シリーズ ルータに高密度音声モジュールを追加して強化し、シカゴのヘッドエンド用に新しく VPN 暗号化アクセラレータ搭載の Cisco 3660 VPN ルータを購入することだけで済んだ (図 1)。Cisco 2600 および 3600 高密度アナログ音声/Fax ネットワーク モジュールを使用すると、PSTN (公衆交換電話網) および従来の電話機器を既存の Cisco 2600 および 3600 シリーズ ルータに直接接続できます。

図 1



Cisco 2600 Series Router



Cisco 3600 Series Router



Cisco 3660 Series Router

2002 年 5 月、Tom Marcello 氏と彼のチームは Voice over VPN に移行しました。最終的な VPN ハブアンドスポーク構成には、シカゴが VPN ハブとして機能することを可能にするシカゴのヘッドエンドの新しい Cisco 3660 VPN ルータ (VPN 暗号化アクセラレータ搭載) と、4 つのリモート オフィスの音声アクセス用 Cisco 3640 および 2611 ルータが含まれます。ランテ社の毎月の通信費用は、34,500 ドルから 13,250 ドルに削減され、61% の節約となりました (表 1)。また、Voice over VPN により、各ブランチ オフィスの帯域幅がシングル T1 からデュアル T1 へと倍増しました。さらに、本社の DS3 の規模を大幅に縮小できました。フレーム リレーを使用していたとき、ランテ社は 4 つのリモート オフィスすべてのインターネット アクセスを、シカゴの DS3 経由で行っていました。現在は VPN により、リモート オフィスから直接インターネットに接続できます。

表 1

Lante 社は毎月の通信費を 61% 削減

フレーム リレー		VPN			
場所	回線	機能	1 カ月のコスト	インターネット回線	1 カ月のコスト
シカゴ	DS3	インターネット	\$8,200	DS3	\$5,600
シカゴ	DS3	フレーム リレー	\$10,500	DS1	\$850
シカゴ	T1	冗長用インターネット	\$2,100		
ニューヨーク	T1	フレーム リレー	\$2,700	T1 × 2	\$1,700
シアトル	T1	フレーム リレー	\$3,000	T1 × 2	\$1,700
ヒューストン	T1 × 2	インターネット (買収した会社から引き継いだもの)	\$4,000	T1 × 2	\$1,700
ダラス	T1 × 2	インターネット (買収した会社から引き継いだもの)	\$4,000	T1 × 2	\$1,700
合計			\$34,500		\$13,250
		合計月間コスト節約 : \$21,250 節約率 : 61% ROI : 2.6 カ月			

ランテ社は3カ月未満で設備投資を回収しました。デバイスの購入とインストールにかかった費用は合計で55,000ドルです。これには、既存のシスコルータに搭載したCisco 2600および3600音声モジュールと、シカゴ本社に設置した新しいCisco 3660ルータの費用が含まれています。Internet Service Provider (ISP)との契約により、ランテ社にはインストール費用は請求されませんでした。また通信事業者は、Voice over VPNアプリケーションをサポートするためにService Level Agreement (SLA)を提供しました。

Tom Marcello氏は、全体で年間WANコストを250,000ドル以上削減できたことに感動しました。性能が強化されたにも関わらず、60%以上の節約が達成できたのです。彼はまた、ユーザからの反応にも満足しました。「通常は少しでも音声品質が悪いとすぐ苦情を言うエンドユーザが実際に電話をかけてきて、シスコのVPNネットワークの音声品質は素晴らしいと言うので

す」とMarcello氏は語ります。さらに、Marcello氏はシスコが提供したサポートについて次のように語ります。「(シスコのサポート担当者の)多くは私が実行しようとしていたことにはかなりの可能性があることを知っていたと思います。私はたくさんのサポートを受けましたし、そのことに感謝しています。」

ランテ社は、2002年9月にSBI and Companyにより買収されました。この会社は、顧客が業務を改善できるよう第一級のテクノロジーを提供する有力なプロフェッショナルサービス会社です。買収後も、ランテ社のVoice over VPNインフラストラクチャはそのまま残り、数百人もの従業員の音声通信を効率的にサポートし続けています。実際、Tom Marcello氏は、Voice over VPNソリューションを拡張してSBI社のオフィスもサポートする予定です。彼は、シスコとの関係を継続したいと考えています。「シスコが提供してくれたテクノロジーとサポートがなかったら、この移行はここまで成功しなかったはずです。」

©2005 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL: 03-6670-2992

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問合せ先